

給食センター建設事業と周辺の道路整備は並行して行うべき

市長／そのような考えで進めていきたい



柴田 恭成 議員

平成29年度以降の本市財政状況の見通しについて

柴田議員 合併による優遇措置も28年度から縮減が始まり、33年度からは一本算定となり、普通交付税も縮減され厳しくなるが、今後の財政の見通をどう考えているか。

松本市長 厳しい財政状況が続くと考えている。

柴田議員 今後の人口減少、高齢化社会を見据えて持続可能な財政運営をしていく必要があると考えるが。

松本市長 市民にとって真に必要な事業を推進し

ていく事が重要だと考えている。

平成29年度の予算編成方針について

柴田議員 前例踏襲的な予算要求だけでなく、事業部局の自主性・主体性を高め、財政状況への認識やコスト意識を持った新たな事業も予算に反映させるべきだと思うが。

松本市長 全ての事業に優先順位をつけて要求するよう指示した。

平成28年度国の第二次補正予算について

教育次長 非構造部材の耐震化工事で3校分が採択され、堂崎小学校体育館の大規模改修、有家中学校校舎と体育館の防災機能強化事業については、前倒しで要望した。

柴田議員 各学校の洋式トイレについては要望したのか。

教育次長 今回は申請していないが、今日の生活様式に鑑み、積極的に進めてまいりたい。

農業振興について

柴田議員 農業の担い手育成と確保対策の取り組み状況は。

松本市長 農業後継者組織支援事業など担い手の育成・確保に努めている。

柴田議員 農業機械のレンタル事業等も考えるべきだと思うが。

松本市長 十分検討していきたいと思う。

給食センター建設事業について

柴田議員 給食センター供用開始までの流れについてはどのように考えているのか。

教育次長 平成29年度に基本設計、実施計画、一部校舎の解体。平成30年度、31年度に建設を行い、平成32年度の供用開始を考えている。



給食センター予定地 (旧龍石小学校)

「南島原市後期総合計画」における少子化対策の成果は

市長／現在、出生率は2.16人と、半島三市では一番、県内でもトップクラスとなった



金子憲太郎 議員

少子化対策について

金子議員 大学の誘致は可能性がないのか。

松本市長 現在、大学は少子化による募集停止や利便性の良い場所への移転を進めており、現実的には難しいと考える。

金子議員 確かに大学全体は難しい面があると思うが、例えば農・畜産学部とか、水産学部などの誘致についてはどうか。

松本市長 難しい部分もあると思うが、小学校統合後の廃校舎の活用を考

えると、色々な専門学校なども大いに考えて良いと思う。

教育問題について

金子議員 保育所から高校までの一貫した教育を行っているのか。

教育長 児童・生徒の諸問題について情報交換をし、連携、交流を推進する幼保・小中連絡協議会や懇談会が設けられている地区もあり、職員も参加している。また、市内二つの高校とは、校長レベルや、担当者レベルでも交流を図り、本市として育てたい子供像を共有している。



臨時非常勤職員について

金子議員 恒常的な業務に就いている、臨時非常勤職員の割合はどの程度

か。

総務部長 臨時非常勤職員は期限付きであり、恒常的に業務に就いている職員はいない。

金子議員 期限付きであっても業務は恒常的だと思うが。

総務部長 仕事の内容と

いう部分だけで言えば、そういうことになる。

金子議員 恒常的な業務を行っているということ

は、正規職員同様に大切な行政サービスを担っていると思うが。

松本市長 大切な仕事を

して頂いているという認識でいる。

金子議員 2年前の総務省通知では、正規職員との格差を少なくし、通勤費や時間外手当相当分は費用弁償で支給できるとなっているが。

総務部長 合併当初、費用弁償的なものの議論もあったが、一律でなくなった。ただ、総務省からそういう通知が出ているので、検討は当然すべきであると考えている。